

ぼくは風力はつ電が大好きだ

茨城県 日立市立油繩子小学校二年 長山 千紘

ぼくは、風力はつ電きがあつと日本に多くたてられるとよいと思います。

ぼくは、三才のころから風力はつ電きが好きです。はじめて見た風力はつ電きは、日立市大ぬま町にあります。「こんなに大きなものは、どうやって回っているのだろう」とふしぎに思いました。

それからいろいろな風力はつ電を見に行きました。いばらきけんには、かみす市とひたち太田市とさくら川市にもあります。

ぼくは、風力はつ電のことをしらべて風力かで羽が回り電気を作っていることを知りました。このように、水や太ようや風などの自ぜんエネルギーをつかってはつ電できることは、かんきようにやさしいです。今、日本の電力は火力はつ電と原子力はつ電でほとんど作られています。原子力はつ電は、ふくしまだいい原子力はつ電しよのように、きけんが多

くあります。今でも二〇一一年の地しんでおきたじこで、すめない場しよがたくさんあります。

ぼくは、そのことについてとてもかなしい気もちになりました。今の場しよにすめないと思うと、こわい気もちになりました。

日本は地しんが多く、このようなじこがまたおこるかもしれない。しかし風力はつ電は、自ぜんエネルギーをつかうのでこのしんぱいが少ないです。また、海や山など色々な場しよにたてることができます。さらにこれからは、よう上風力はつ電がふえると聞いたことがあります。海は風がつよく、羽が多く回るので電気がたくさん作れます。日本は海にかこまれているので、これからたくさん風力はつ電が活やくすると思います。

しかし、風力はつ電にもわるいところがあります。まず二十年でじゅみようがきてしまうことです。古

い風力はつ電きを長くつかっているとたおれてしまいとでもきけんです。こわれていなくても二十年でとりこわさなければならぬそうです。ぼくは、まだつかえるのにこわしてしまふのは少しもったいないなと思つてしまふ。五十年くらい長くつかえるようなじよぶな風力はつ電きがあればいいのになと思つます。また、風力はつ電きが回ると音がうるさくかんじる人もいます。風力はつ電きが回る時の音は「ビューンビューン」ととてもカづよいです。家の近くに風力はつ電きをたててほしくないと思つている人もいます。ぼくは、風力はつ電きを自分の家のそばにたててみたいと思つているのにぎんねんです。

風力はつ電はいいところもたくさんあるけれども、わるいところもあります。ぼくは、そのわるいところをかえてみんなが安心して電気をつかえるような風力はつ電きを作る人になりたいと思つています。これからもぼくがまだ知らない風力はつ電や自ぜんエネルギーについてしらべたり学んでいきたいです。

